

おにクル オープニングイベント 実行委員会

第3回

2023.7.30.sun



オープニングイベント進捗報告

共創推進課の的場より、オープニングイベントの進捗報告をしました。おにクルの前の芝生広場（おにクル広場）では、8時半に開場し、9時からマーチングバンドの演奏が始まります。マーチングバンドは市役所側から会場に入ります。その後、実行委員会のオープニングセレモニー部会で企画を進めている「1歳から100歳の市民100人でのテープカットが行われ、その後、おにのお面をかぶった人たちが一斉に広場に出てくる「おにがキタぞ!」と続きます。9時半から式典招待者の入場が始まり、入口や動線の混乱を避けるため、10時半から事前申込された方々の入場が始まります。



●参加者数

18名

●プログラム

- ① 前回のふりかえり
- ② オープニングイベントの最新情報の共有
- ③ 部会での話し合いの結果報告
- ④ 部会内で意見交換
- ⑤ テーマごとの意見交換
- ⑥ 発表
- ⑦ おわりに

各部会の進捗報告

各部会に入っている市民活動コーディネーターから、部会ごとに進めている話し合いの結果をスライドを使いながら報告をしました。

プログラムコーディネート部会

オニくるではこんな市民企画ができるよ！を伝えられるようにしようということになり、ステージでの参加型のパフォーマンスをしたり、団体の紹介ができるブースをつくったり、おにクルの予習ができる「おにクル教習所」コーナーの設置を検討しています。



五宝さん

コンシェルジュ部会

館内ツアーを考えるツアー班、コンシェルジュの目印や来場者の声集めの方法をデザインするビジュアル班、数字と比較対象（卵〇個分など）で楽しく情報を伝えるインフォグラフィック班にわかれて企画づくりを進めています。部会内では毎回おにクルについて学ぶ勉強会を開催していきます。



宮本さん

情報発信部会

おにクルプレスでは、ツイッターの運営を始めました。Instagramなども順次始める予定です。また、おにクルのQ&A(質問箱)を軸にしたおにクルポータルサイトを開設する予定です。楽しい情報を発信していきます。また、各部会の取り組みを取材、発信していきます。

高田さん



オープニングセレモニー部会

ものづくりチームでは、テープカットの参加者がつけるコサージュ、帽子などのデザイン検討、テープカットのテープのデザインを進めています。しゃぼん玉チームはセレモニーを盛り上げるしゃぼん玉の演出を考えています。

川上さん

蔭本さん



部会をこえてテーマごとに意見交換

それぞれの部会で話したいテーマを出し合い、部会のメンバーがテーマのテーブルにわかれて意見交換しました。他の部会メンバーとアイデア出しをしたり、今後の進め方を相談しました。

①団体や活動紹介では、どのような紹介ができるとういのか？

プログラムコーディネート部会で企画している団体の活動を紹介するブースでは、統一感のある展示ができるように、屋台を使うなど工夫ができるとういのではとうい話が出ました。また、パネルなどの展示だけではなく、メンバーがそこにいて説明してくれたり、団体の活動の一部を体験できたり、オープニングイベント後の活動の予定がわかるような小冊子等があるとよいのではとうい意見が出ていました。



②「おにクル教習所」という名の休憩場所があったらどんなことができそうか？

プログラムコーディネート部会では、当日におにクルの館内には入れない人も多きことを考えて、IBALAB@広場で館内の様子わかる「おにクル教習所」を開設するのはどうかとうい企画です。コンシェルジュ部会のツアー発着所にしたり、情報発信部会(おにクルプレス)と連携して当日の館内の様子を中継するなど、部会をこえた活用のアイデアが出ていました。



③コンシェルジュのための勉強会 設計した方々にいろいろ聞こう！

おにクルの設計に携わる伊東豊雄建築設計事務所の神崎さんと阿部さんをゲストに、おにクルの設計に込めた思いや工夫した点についてご紹介いただきました。フロアカラーの理由や茨木にゆかりのあるアーティストとのコラボレーションについて、そしておにクルで初めて取り入れた技術など幅広いお話が聞けたので、これらを少しでも来場者のみなさんに伝えられるよう工夫していきます。



④オープニングイベント当日までにどのような情報発信ができそうか？

各部会で打合せ風景やワークショップの告知、当日の様子などをSNSを通じて発信できればとうい意見がありました。「おにクル」という名称は実行委員会に関わるメンバーは知っていても、市民には知らない人も多数いる。新しい茨木のゆるキャラだとうい思っている人もいれば、イベントだとうい思っている人もいる。クイズ形式や豆知識にて発信できれば理解も深まり、親しみを持ってそうだとのアイデアがありました。



⑤スタッフの目印、テープカットのテープなどの製作物について

実行委員会メンバーの目印をどうするかについて話し合いました。結果、頭につける「おにのツノ」を全ての部会共通で作ることになり、試作会の日程を決めました。また、部会のテーマカラーも検討、コーディネーター部会は緑、コンシェルジュ部会は赤、情報発信部会(おにクルプレス)は青、セレモニー部会は黄になりました。次回までに、外構模型を使ってテープカット当日のフォーメーションを検討します。

